

奥深大寺（調布市北部）地域活動 「ふじみ地区自治会等連合会」

発行：2023年3月18日



連合会は環境、安全、福祉、地域交流をテーマに活動しています。

(構成)

自治会：北の台第二、北の台第四、香風、
栄、さつき会、深大寺東、
深大寺東第一、野ヶ谷第二団地
団体：なかま・町づくり、タスクネット東京
野ヶ谷通りを考える会、エンピツ広場
住みやすい野ヶ谷の会

地元を少しでも、安全で暮らし易くするために・・・



地域巡回交通(実証実験)の運行、3月末で終了！

ミニバスの9割減便(令和2年秋)の後に始まったワゴン車両による無料運行が、3月31日で終了します。地域にはこの便を当てにし、地域へお出かけするなど生活をしている方が確実におります。地域には地域の事情があります！

次なる運行が決まらないまま終了するのは、先のミニバス大幅減便の反省が生かされていない事になり、認識の乖離を感じます。



都営深大寺住宅前

通学路：野ヶ谷通り深大寺東町の安全性検証を行います！

日時：3月31日朝7時半

場所：野ヶ谷通り、深大寺東町6丁目26～27番地付近

目的：イメージハンパ施工後の状況の検討と実態調査

参加：調布警察署、調布市交通対策課、道路管理課、
教育委員会、北の台小保護者有志



写真は
狛江市

陳情の現場(野ヶ谷通りの横断歩道)で3月27日、陳情内容の一つであるイメージハンパの工事が実施されますが、31日その後の安全性を検証するものです。毎朝通学路で安全見守りを行っている方々が話し合い、市議会に現状の危なさや安全対策を求めて陳情を提出、これが全会一致で採択された結果を受けたものです。また、深大寺北町では地域協力が起因となり、歩道確保に向け新たな動きが出ています。

自転車ヘルメットの着用、4月から義務となります！

東京都内の交通事故の発生件数は過去20年余り減少傾向ですが、自転車に関係する事故は高止まりが続いています。2021年は1万2000件余りと5年前より1600件余り増加していて、全体に占める割合は増え続けています。(警視庁)



JAXA食堂が地域に開放されています！



JAXA施設内の職員食堂が地域の方に定食、喫茶として一般開放されていて、職員の方と同様に利用できます。利用は11時から14時まで。(オーダーストップ13時半)。*利用するには正門受付(守衛)で入場記帳が必要です。

業務に従事しているのは、江東区の社会福祉法人おあしす福祉会の方々と、約1時間半をかけて勤務されています。

三鷹通り歩道の危険箇所改善に向けた活動(平成29年3月報告より抜粋)

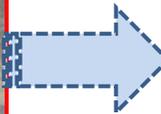
緊急時の指定道路となっている三鷹通り歩道危険箇所に関心を持ち、平成25年より改善に向けた活動をしてきました。対象を三鷹市役所前交差点から、下布田交差点(甲州街道)まで10か所の危険箇所を指摘、その結果半分で何らかの改善に繋がってきました。その事から最近では、当会近隣地域に注力、特にJAXA側歩道のゆとり空間の全長化、諏訪神社バス停付近の改善を訴えかけてきています。

***改善箇所:**①深大寺児童館前交差点付近歩道、②八雲小学校バス停付近歩道、③八雲台バス停付近隣接公園との待合、④農業高校農場正門付近歩道(青謂神社) ⑤神代植物公園裏の狭さく歩道 以上5か所の改善につながりました。

擁壁の亀裂、崩壊による危険箇所

住所:深大寺元町5丁目、深大寺南町5丁目、4丁目

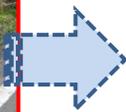
神代植物公園(裏)には擁壁に大きな亀裂が生じたままに長年放置されてきた。対応を求めて3年活動した結果、ようやく改善工事が終えた。行政側の道路管理と公園管理の管理部署の違いから、お互いの連携を得られるまで時間を要した。



深大寺児童館前交差点横

住所:深大寺北町2丁目(深大寺児童館前交差点付近)

歩道内に残された緑地部分の改修について現地歩き調査から都と市で話し合い、工事が実施された。これにより、深大寺児童館前交差点の新たな安全が確保された。但し、反対側の歩道部分は以前のままで、狭い歩道の真ん中に電柱があり、車いすは一度車道に出なければ通る事が出来ない。



農業高校農場正門の危険箇所

住所:深大寺南町4丁目

現地歩き調査から都、市の区画整備確認(越境)を行う事となり、領域変更につながる。付近の深大寺小通学路の安全改善となった。しかし、隣接の農高農場入口敷地は周りの安全通行上も障害であり、更なる対策が必要と提起するも都、教育委員会との管理区分で停滞している。

